

中国弁護士から見た弁護士と外国法事務弁護士等の提携・協働について

1. 中国の外国法事務弁護士の実情

業務内容：

日本企業の中国進出：2000年より毎年増えている。

中国企業の日本進出：徐々に増えている（実例）。

日中間貿易紛争

知的財産権に関する紛争

その他

欧米の外国法事務弁護士との相違点

人数、業務内容

日本の弁護士との提携形態：殆ど日本の事務所に雇用されている。

2. 中国のローファームの実情

業務内容、規模：

人数：約 11 万人（国際業務に従事している人数は約 2,000 人）

事務所：約 9,000 社

業務内容

国内業務：訴訟業務が中心。

国際業務：M&A などの訴訟以外の業務が中心。

海外進出の実情・外国ローファームとの提携

中国における外国弁護士の法規制及び動向

中国弁護士事務所の海外進出

欧米ローフォームとの主な相違点

3. 中国弁護士（外弁）から見た日本の外弁制度

中国弁護士（外弁）に対する日本の需要

日本の外弁制度に対する認識及び問題点

4. 中国弁護士（外弁）から見た日本弁護士との共同事業

現行の特定共同事業に対する認識

中国弁護士（外弁）と日本弁護士のパートナーシップ制による共同事業の必要性

5. 日本の弁護士事務所の国際化

日本における中国法関連業務の実態

日本における中国法関連業務の対応強化策